

日商簿記 1 級&全経上級フリーテキスト講座

【売価還元法と工事契約の会計処理】

収録日：平成 27 年 5 月 22 日

※売価還元法の計算式覚える必要ありません。

<過去問の類題です>

次の資料により、売価還元原価法にて期末商品帳簿棚卸高（原価）、棚卸減耗費、商品評価損を算定しなさい。原価率小数の端数処理は、小数点以下第 3 位を四捨五入する事

試算表の繰越商品 54,000、当期商品仕入高 1,150,000
 期首商品棚卸高（売価）83,160 円
 期中の値入率 55%
 期中の値上額 50,000 円、値上取消額 40,000
 期中の値下額 30,000 円、値下取消額 8,500
 期末商品棚卸高（帳簿売価）117,600
 期末商品棚卸高（実地売価）113,600
 上記の正味売却価額 65,000 円

なお見本品 1,000 円（売価）を取引先に発送していたが未処理であった

83,160	54,000	売原	
1,150,000	1,150,000		売上高 1,735,560
632,500		販促	販売費 1,000 (※)
10,000		期末	期末売価 117,600
△21,500			
合 計 1,854,160	1,204,000		合 計 1,854,160
	↔		
	0.64935→0.65		期末実地 113,600 正味売却 65,000

※売価ベース：販売費 1,000 / 仕入 1,000

期末商品 $117,600 \times 0.65 = 76,440$
期末実地 $113,600 \times 0.65 = 73,840$ > 正味売却 65,000 ∴ **評価損 8,840**
 ∴ **棚卸減耗費 2,600**

●処理方法をまとめます

- ① 原価BOXの横に売価で記入し、借方合計で原価率を計算する
- ② 売価の帳簿残と実地残にそれぞれ原価率を乗じて原価を計算

棚卸し減耗や評価損ある時は以下の手順

- ③ 帳簿原価と実地原価の差を出して「棚卸減耗費」を算出
- ④ 実地価額と正味売却価額の差が商品評価損

ここで実施したのは**売価還元原価法**です。

●この問題を以下の条件を加えて**売価還元低価法**で計算するとどうなるでしょうか？

期末商品の実地棚卸額を 117,000 円とします

正味売却額はわかっていないが「値下げ額が適切に売価に反映されている＝正味売却額が計算できる」という前提で考えましょう

<売価還元低価法原価率>

△21,500 を無視して計算します（細かい事は考えないでおきましょう）

→ $1,204,000 / 1,875,660 = 0.64$ （売価還元低価法の原価率）

期末帳簿棚卸高→ $117,600 \times 0.65 = 76,440$

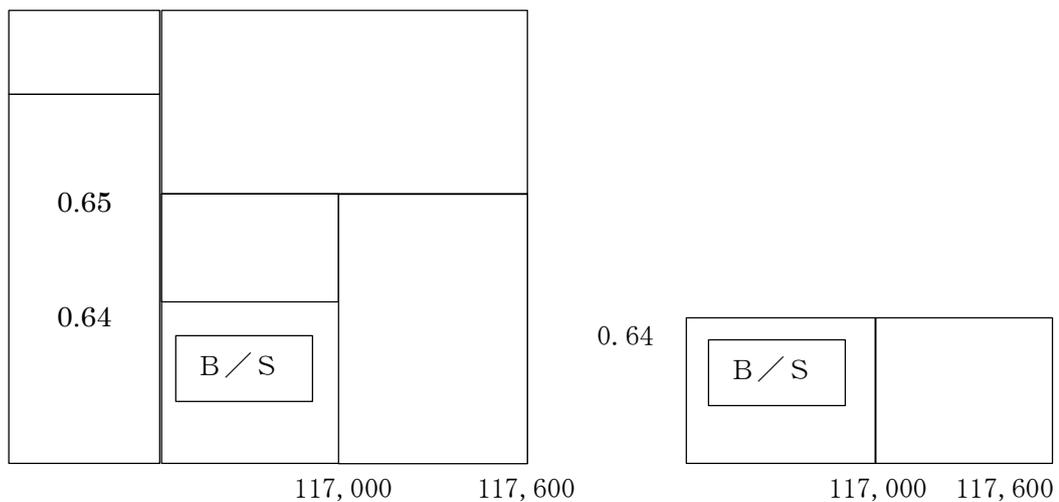
期末実地棚卸高→ $117,000 \times 0.65 = 76,050$ （棚卸減耗費 390）

B/S 商品計上額→ $117,000 \times 0.64 = 74,880$ （商品評価損 1,170）

このケースで商品評価損を計上しない場合は（ここまでは出題ないか？）

期末帳簿棚卸高→ $117,600 \times 0.64 = 75,264$

期末実地棚卸高→ $117,000 \times 0.64 = 74,880$ （棚卸減耗費 384）



最終的には借方合計から B/S 価額引いたものが売上原価になるので利益に対する影響はありません

工事契約の会計処理について

理論対策

- ・ 成果の確実性の 3 要件→工事収益総額・工事原価総額・工事進捗度について、その見積もりに信頼性がある事)
- ・ 工事進捗度については原価比例法が用いられることが多い。

計算対策

当社の建設業経理士の無料講座の 2.3.4 をまずは視聴して下さい

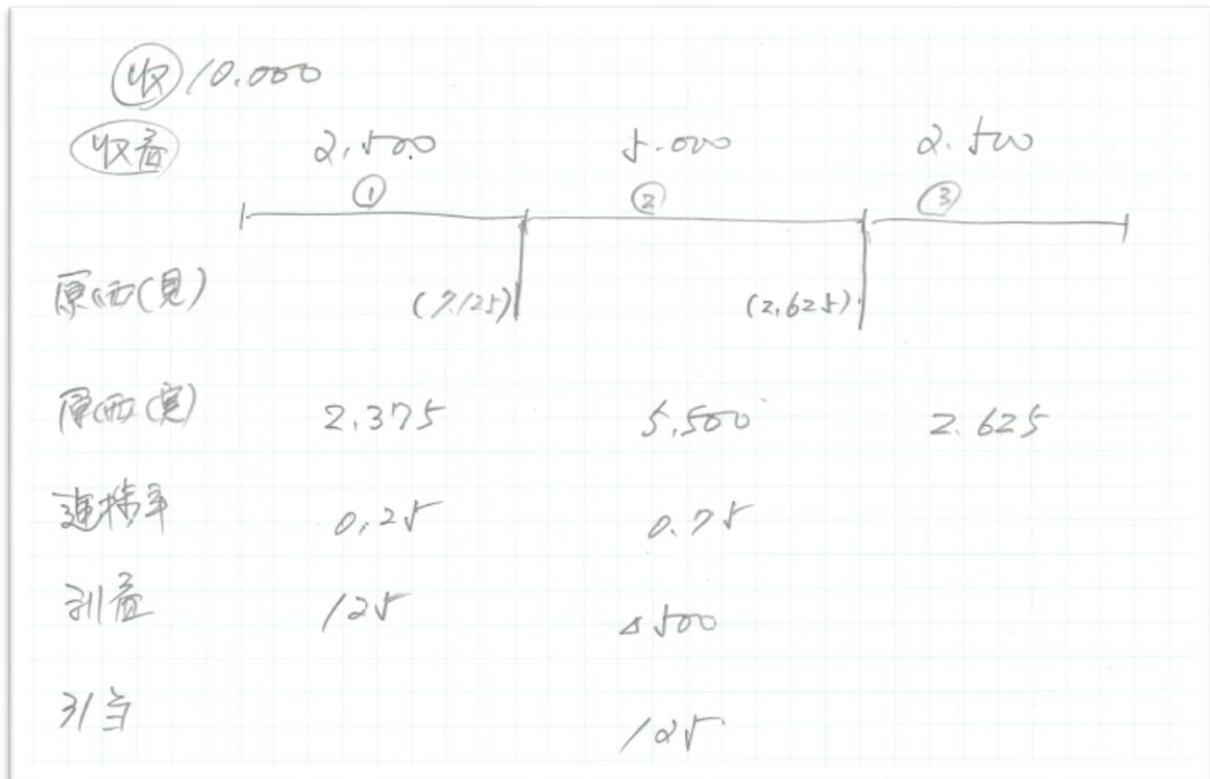
では日商 1 級レベルの問題を解いてみましょう。

<例題>

次の工事契約について、×1 年度、×2 年度、×3 年度の工事収益、工事原価を工事進行基準により求めなさい。なお、端数が生じた場合は千円以下を切り捨てなさい。

- ① 工事請負額は 10,000 千円で、工事は×1 年度に着工して×3 年度に完成引渡しを行った。
- ② 工事原価の実際発生額と見積原価

	×1 年度	×2 年度	×3 年度	合計
実際原価	2,375	5,500	2,625	
年度末の 残見積原価	7,125	2,625		



<各期の仕訳>入出金は除く

×1年度： 完成工事未収入金 2,500／完成工事高 2,500
完成工事原価 2,375／未成工事支出金 2,375

×2年度： 完成工事未収入金 5,000／完成工事高 5,000
完成工事原価 5,500／未成工事支出金 5,500

完成工事原価 125／工事損失引当金 125（流動負債）

×3年度： 完成工事未収入金 2,500／完成工事高 2,500
完成工事原価 2,625／未成工事支出金 2,625
工事損失引当金 125／完成工事原価 125